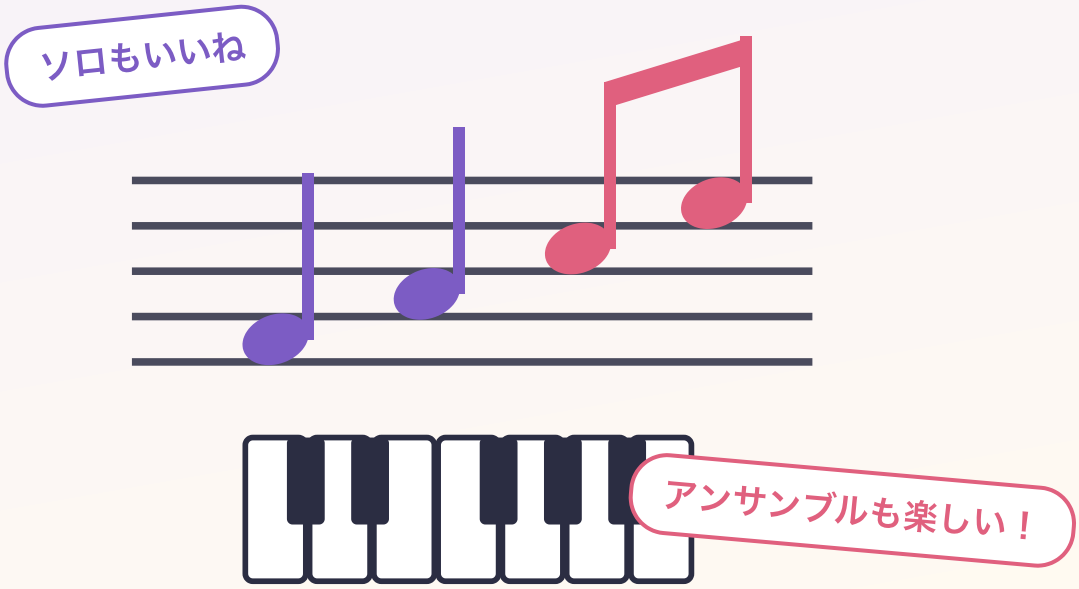
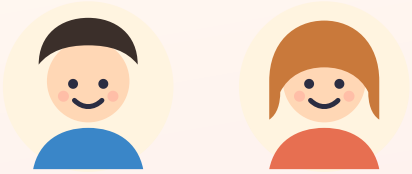
Season 10 | No.94



ソロとアンサンブル

一人の音も、みんなの音も、どちらも音楽



全30ページ | 無料教材

一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の使い方

1 **声と体で感じる**
音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょう。

2 **本物の音を聴く**
この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3 **「やってみよう」は手と体で**
答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken（ケン）
音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma（エマ）
カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

ソロとアンサンブル入門 3〜7
練習と表現 8〜12
学びとスタイル 13〜17
自分らしく楽しむ 18〜19
練習しよう 20〜24
ふり返り 25〜30

Lesson 1

ソロってなに？

ソロとは、1人で演奏や歌唱をする音楽のスタイルです。

ソロとは、1人で演奏したり歌ったりすることです。
アンサンブルとは反対に、自分だけの音で音楽を表現するスタイルです。



ソロ
solo
1人で演奏・歌唱すること

伴奏（ばんそう）
accompaniment
ソロを支える演奏

ポイント

- ソロは、自分のペースで自由に表現できるスタイルです。
- 伴奏がつくソロと、伴奏なしのソロ（無伴奏）があります。

やってみよう

1. ソロで演奏・歌唱したことがある曲を書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 2

ソロの魅力

ソロには、ソロならではの魅力があります。

ポイント

- 自分の表現を、だれにも合わせずに自由に出せます。
- 曲の速さや強弱を、自分の感じ方で決められます。
- うまくいったときの達成感は、すべて自分のものになります。

やってみよう

1. ソロの魅力を、あなたの言葉で1つ書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿

ワンポイント ソロは自由な反面、すべてを自分でつくり上げる責任も大きくなります。

書いて覚えよう

Lesson 3

ソロの難しさ

ソロには、ソロならではの難しさもあります。

ポイント

- 支えてくれる仲間がいないぶん、緊張が大きくなりやすいです。
- 止まってしまうと、自分だけで立て直さなければなりません。
- 1人で練習を続けるモチベーションの保ち方も、課題の1つです。

やってみよう

1. ソロで演奏するとき、不安に感じることを書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 4

アンサンブルの魅力

アンサンブルには、仲間と重なる音の魅力があります。

アンサンブル

ensemble

複数の人で合わせて演奏すること

合わせる

ensemble playing

おたがいの音を聴きながら演奏すること

ポイント

- 1人では出せない厚みのある響きが生まれます。
- 仲間と息を合わせる楽しさや一体感を味わえます。

やってみよう

1. アンサンブルで演奏したことがあれば、そのときの気持ちを書こう。

書いて覚えよう

Lesson 5

アンサンブルの難しさ

アンサンブルには、合わせるための難しさもあります。

ポイント

- 自分のペースだけでなく、まわりに合わせる意識が必要です。
- 1人のミスが、全体の流れに影響することもあります。
- 練習日程を合わせることも、アンサンブルの大切な準備です。

やってみよう

1. アンサンブルで合わせるときに、気をつけたいことを書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿

ワンポイント　「合わせよう」と気負いすぎず、まずはよく聴くことから始めましょう。

書いて覚えよう

Lesson 6

ソロの練習

ソロの練習は、自分のペースで積み重ねられます。

ポイント

- 自分の弱点にじっくり向き合う時間を、たっぷり取れます。
- 録音を聴きながら、細かい部分まで見直せます。
- 1人だからこそ、練習の計画も自分で自由に立てられます。

やってみよう

1. 今取り組んでいるソロ曲の、練習したい部分を1つ書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 7

アンサンブルの練習

アンサンブルの練習は、仲間との時間を大切にします。

ポイント

- まずは自分のパートを、1人でしっかり弾けるようにしておきましょう。
- 合わせる練習では、指揮や合図、テンポの確認が大切です。
- 止まった部分は、どこから合わせ直すかをあらかじめ決めておくと安心です。

やってみよう

1. アンサンブルの練習で、次に確認したいことを書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 8

ソロの表現

ソロでは、自分だけの表現を自由に描けます。

ポイント

- テンポや強弱を、自分の感じ方に合わせて変えられます。
- 曲の解釈を、自分なりに深めていくことができます。
- 「自分らしさ」を出しやすいのが、ソロの表現の特徴です。

やってみよう

1. 自分らしい表現だと思う演奏の工夫を1つ書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 9

アンサンブルの表現

アンサンブルでは、みんなで1つの表現をつくります。

ポイント

- それぞれのパートの表現を、全体として1つにまとめていきます。
- 自分の音だけでなく、仲間の音を聴きながら表現を合わせます。
- 話し合いながら、曲の解釈をそろえていくことも大切です。

やってみよう

1. 仲間と表現を合わせるために、話し合いたいことを書こう。

書いて覚えよう

Lesson 10

伴奏者との合わせ

伴奏者との呼吸も、演奏を大きく左右します。

ポイント

- 伴奏者とは、テンポや息づかいをよく確認しておきましょう。
- アイコンタクトや小さな合図で、息を合わせることができます。
- 伴奏合わせの練習は、本番前に必ず取り入れましょう。

やってみよう

1. 伴奏者と合わせるときに、確認しておきたいことを書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿

ワンポイント 伴奏者も、あなたの演奏を支える大切な仲間です。感謝の気持ちを忘れずに。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 11

ソロで学べること

ソロの経験は、音楽の力を大きく育てます。

ポイント

- 自分で判断し、表現をつくり上げる力が身につきます。
- 最初から最後まで責任を持つ経験は、大きな自信になります。
- うまくいかないときも、自分で立て直す力が育ちます。

やってみよう

1. ソロを通して身についたと感じる力を書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson
12

アンサンブルで学べること

アンサンブルの経験は、聴く力と協力する力を育てます。

ポイント

- 自分の音だけでなく、まわりの音をよく聴く力が育ちます。
- おたがいを尊重しながら、1つのものをつくる経験ができます。
- うまくいかないときに、話し合って解決する力も身につきます。

やってみよう

1. アンサンブルを通して身についたと感じる力を書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson
13

交互に経験する

ソロとアンサンブルを交互に経験すると、それぞれの良さがよくわかります。



Ken
アンサンブルのあとにソロをやると、自由さがよくわかるね。

Emma
ソロのあとにアンサンブルをやると、合わせる楽しさがよりわかるよ。



ポイント

- 片方だけでなく、両方を経験することで、それぞれの魅力が見えてきます。
- 得意なほうだけでなく、苦手なほうにも挑戦してみましょう。

やってみよう

1. 次に挑戦してみたいのは、ソロとアンサンブルどちらですか。＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson
14-15

ソロ曲の選び方・アンサンブル曲の選び方

曲の選び方は、ソロとアンサンブルで少しちがいます。

ソロ曲

えらぶポイント

自分の力に合っている
最後まで演奏できる

表現したい気持ちに合う
自分らしさを出せる

アンサンブル曲

えらぶポイント

メンバーの力に合っている
全員が演奏できる

パートのバランスがよい
それぞれの見せ場がある

ポイント

- ソロ曲は自分の力と気持ちに、アンサンブル曲はメンバー全体のバランスに注目しましょう。

やってみよう

1. 今のあなたに合いそうな曲のタイプを書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿

書いて覚えよう

Lesson 16

ソロとアンサンブルの発表

発表の場でも、ソロとアンサンブルは形がちがいます。

ソロ発表
1人でステージに立つ緊張と達成感

デュオ
2人で息を合わせる楽しさ

小アンサンブル
少人数でまとまりを見せる

大合奏
大きな響きをみんなでつくる

伴奏付き独奏
1人の表現を伴奏が支える

合唱
声を重ねて1つの表現に

ポイント

- 発表の形にはいろいろな種類があり、それぞれに合わせた準備が必要です。
- どの形でも、聴く人に届けたい気持ちは同じです。

書いて覚えよう

Lesson
17-18

自分に合うスタイル・両方を楽しむ

ソロとアンサンブル、どちらも楽しみながら自分のスタイルを見つけましょう。

ソロが好きな人

自分のペースで
じっくり表現を深める

責任感を
1人で最後までやりとげる

アンサンブルが好きな人

仲間との一体感を
合わせる楽しさを味わう

協力する力を
話し合いながら育てる

ポイント

- どちらが良い悪いではなく、どちらも音楽の大切な形です。
- 両方の魅力を知っておくと、音楽との付き合い方の幅が広がります。

書いて覚えよう

Lesson 19

まとめ

ここまでの内容を、自分の言葉で整理しよう。

まとめ　自分の言葉で書こう

1. ソロの魅力は何だと学びましたか。＿＿＿＿＿＿＿＿
2. アンサンブルの魅力は何だと学びましたか。＿＿＿＿＿＿＿＿
3. あなたは今、どちらに挑戦してみたいですか。＿＿＿＿＿＿＿＿

ポイント

- ソロとアンサンブルは、それぞれちがう力を育ててくれます。
- 両方を経験しながら、自分に合うスタイルを見つけていきましょう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 20

聴いてくらべよう

ソロの演奏と、アンサンブルの演奏を聴きくらべてみよう。

くらべるところ	ソロ	アンサンブル
音の厚み	1つの音の流れ	重なって厚みが出る
自由さ	自分のペースで変えられる	全体に合わせる必要がある
緊張感	1人で受け止める	仲間と分け合える

ポイント

- 同じ曲のソロ版とアンサンブル版があれば、聴きくらべてみましょう。
- それぞれの良さに耳をすませてみましょう。

やってみよう

1. 聴きくらべて気づいたちがいを書こう。

書いて覚えよう

Lesson
21-22

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

ソロとアンサンブルの両方を、実際に体験してみよう。

A （1人で弾いて）これがソロの部分だよ

B （合わせて）じゃあ、ここから2人で合わせよう

A （合図して）せーの

B （合わせる）＿＿＿＿＿＿＿＿

ポイント

- 1人で弾く部分と、2人で合わせる部分を、実際に体験してみましょう。
- うまく合わなくても大丈夫。何度も合わせるうちに、そろっていきます。

やってみよう

1. ペアで、同じ曲の一部を、ソロとデュオの両方で演奏してみよう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson
23-24

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきを知ると、対策が立てやすくなります。

つまずき

よくあること

ソロで走ってしまう
1人だとテンポが速くなりがち

アンサンブルで人任せになる
自分のパートがあいまいになる

合わせるときにずれる
相手の音を聴けていない

コツ

こうしてみよう

メトロノームで確認する
自分のテンポの癖を知る

自分のパートを完璧にする
仲間への責任を果たす

相手の音をよく聴く
目や耳で合図を感じ取る

ポイント

- ソロとアンサンブル、それぞれで起きやすいつまずきがあります。
- 自分がどちらでつまずきやすいか、知っておくと対策が立てやすくなります。

やってみよう

1. あなたがつまずきやすいのは、ソロとアンサンブルどちらですか。

_____

書いて覚えよう

Lesson 25

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

ソロ

- ☐ **ソロ**
  1人で演奏・歌唱すること
- ☐ **無伴奏**
  伴奏がないソロ

アンサンブル

- ☐ **アンサンブル**
  複数の人で合わせて演奏すること
- ☐ **合わせる**
  おたがいの音を聴きながら演奏すること

支える人

- ☐ **伴奏**
  ソロを支える演奏
- ☐ **伴奏者**
  伴奏を演奏する人

学び

- ☐ **ソロで学べること**
  自分で表現をつくる力
- ☐ **アンサンブルで学べること**
  聴く力と協力する力

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、練習の目的もはっきりします。

書いて覚えよう

Lesson 26

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

ソロ	●	● ア. ソロを支える演奏
アンサンブル	●	● イ. 1人で演奏・歌唱すること
伴奏	●	● ウ. おたがいの音を聴きながら演奏すること
無伴奏	●	● エ. 複数の人で合わせて演奏すること
合わせる	●	● オ. 伴奏がないソロ

2. 正しいほうに○をつけよう

1. 自分のペースで表現できるのは →（ ソロ ／ アンサンブル ）
2. 仲間と合わせる力が育つのは →（ ソロ ／ アンサンブル ）
3. 伴奏者との合わせで大切なのは →（ 無視する ／ 息を合わせる ）

書いて覚えよう

Lesson 27

ふり返りチェック

できるようになったことを確かめよう。

☐	ソロとアンサンブルのちがいを説明できる	2つのスタイル
☐	ソロで自分の表現を工夫できる	自由な表現
☐	アンサンブルで仲間の音を聴ける	合わせる力
☐	伴奏者と合わせる練習をした	伴奏合わせ
☐	自分に合うスタイルを考えた	自分らしさ

ポイント

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページにもどってみましょう。
- 少しずつ増やしていけば十分です。

書いて覚えよう

一般社団法人文化芸術支援協会｜ソロとアンサンブル　個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 28

家でできる練習

ソロとアンサンブル、両方の練習を生活に取り入れよう。

朝
ソロ曲を1回通して弾く

録音
自分の演奏を録って聴く

家族と
かんたんなパートを一緒に演奏する

動画
アンサンブルの演奏を見る

メトロノーム
テンポを確認しながら練習する

夜
今日の練習をふり返って書く

ポイント

- 1人の練習と、だれかと合わせる練習、両方を少しずつ取り入れましょう。

書いて覚えよう

Lesson
29-30

発表してみよう・感想を書こう

学んだことを、実際の発表でためしてみよう。

発表の形	
演奏した曲	
工夫したこと	
感じたこと	

Ken の例

発表の形 デュオ／演奏した曲 リコーダーの2重奏／工夫したこと おたがいの音をよく聴いた／感じたこと 合ったときがとても気持ちよかった

感想を3文で書こう

① 今回は、〜のスタイルで演奏しました。② とくに、〜を意識しました。③ 次は、〜に挑戦したいです。

書いて覚えよう

Lesson
31-32

もっと知りたい人へ・次のステップ

ソロとアンサンブル、どちらの経験もこれから広げていけます。

もっと知りたい人へ

動画で
有名な独奏・合奏を見くらべる

仲間と
デュオやトリオを組んでみる

先生に
自分に合う曲を相談する

次のステップ

音楽で伝える
表現をさらに深める

オリジナル曲の発表
自分の作品をつくる

音楽仲間をつくる
一緒に演奏する仲間を広げる

ポイント

- この教材の次は「音楽で伝える」。ソロでもアンサンブルでも使える、伝える力を学びます。

書いて覚えよう

Lesson 33

学んだことをまとめよう

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

まとめ　自分の言葉で書こう

1. ソロとアンサンブル、それぞれの魅力は？ _____
2. あなたが今得意なのはどちらですか。 _____
3. これから挑戦したいことは？ _____

ソロ＆アンサンブルミッションカード

MISSION 1
ソロ曲を1曲通して演奏する

MISSION 2
だれかと2人で合わせて演奏する

MISSION 3
伴奏合わせを1回練習する

MISSION 4
演奏を録音して聴き返す

できたミッションに✓をつけよう：　☐1　☐2　☐3　☐4

書いて覚えよう

個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson
34

ソロとアンサンブルチャレンジ

教室の外でも、ソロとアンサンブルはすぐに体験できます。

ためそう

好きな曲の一部を**ソロ**で演奏する

やってみよう

だれかと**2人**で合わせてみる

残そう

どちらが楽しかったか記録する

こたえ

L19 （例）ソロ＝自由な表現／アンサンブル＝合わせる楽しさ

L26 ソロ→イ アンサンブル→エ 伴奏→ア 無伴奏→オ 合わせる→ウ　2. ソロ ／ アンサンブル ／ 息を合わせる

L33 （例）ソロ＝自由な表現／アンサンブル＝合わせる楽しさ

書いて覚えよう

ソロとアンサンブル（Season 10 ｜ No.94）
発行：一般社団法人文化芸術支援協会
この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。
有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。
くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。